

冬至



ゆずの足湯



令和5年度広報 第46号

令和5年12月26日（火）
社会福祉法人晋栄福社会
大阪市立北恩加島保育所

12月22日（木）は、冬至です。1年で昼の時間が最も短く、夜の時間が最も長くなりとても寒くなると言われている日です。健康に過ごせるよう「ゆずを入れたお風呂に入る」と「南瓜を食べる」日本の風習があることを、子どもたちにも知ってもらうために、保育所では「南瓜の種取り」と「ゆずの足湯」を行いました。南瓜の種取りでは、「なんかスイカみたいな匂い…」「種いっぱい！」と驚く子どもたち。ゆず湯では、ゆずを手に取り「なんか匂いがする!」「あったかくてきもちいい〜」と友だちとゆずの良い香りとほっこり温かい足湯を友だちと楽しみました。今年も残りあとわずか……。健康に気を付けながら過ごしていきましょう!

これが種?



かぼちゃってかたいな…



あったかーい♪
良い匂い…



ゆずって
どんなもの??
触ってみたよ!

ゆずの中にも種が入っているの
を見つけたよ!